

LAPSS

地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム
(Local Action Plan Supporting System)

システム移行説明会（移行概要説明編）

2026年 7月
株式会社 野村総合研究所

本説明会に関する注意事項

- 本日はLAPSSの移行説明会（移行概要説明編）にご参加いただきありがとうございます。説明会に先立ち事前に以下の注意事項をご確認ください。
- 本説明会の資料は、参加登録いただいたご担当者様宛にお送りしたメールにて事前共有しております。必要に応じてお手元のPCにも資料をご用意の上、ご参加ください。お持ちでない場合はLAPSS掲示板にも掲載しておりますので、そちらからご覧ください。
- 本説明会の最後に、参加者の皆様からのご質問をお受けする質疑応答の時間を設けております。ご質問がある場合は、配信画面内にある「Q&A」欄に質問内容を入力の上、ご送信ください。お寄せいただいたご質問の中から、事務局より適宜ご回答いたします。なお、当日の進行状況等の理由により、すべてのご質問にはお答えできない可能性がありますので、予めご了承ください。お答えできなかったご質問については、後日LAPSS掲示板にてご回答させていただきます。なお、**本日の質疑応答の内容については、後日LAPSS掲示板への掲載等で共有いたします。**適宜ご活用ください。

本説明会の背景と位置付け

- 環境省では、地方公共団体実行計画（事務事業編・区域施策編）の策定、温室効果ガス総排出量の算定・管理の支援等を目的とした『**地方公共団体実行計画策定・管理等支援システム「LAPSS（ラップス）」**』を開発しており、地方公共団体の皆様にご利用頂いています。
- LAPSSを引き続きご利用頂くに当たり、環境省ではLAPSSを**次期システムに移行させることになりました**。
- 本説明会では、次期システムへの移行の概要や、システム移行前に実施予定のユーザビリティテストへのご協力依頼等について扱います。
- システム移行説明会（次期システム操作説明編）は別途、令和9年1月に開催予定です。詳細は後日ご案内します。
- 本説明会の最後には質疑・応答の時間も設けておりますので、LAPSSのシステム移行についてのご質問や要望等をお寄せいただけますと幸いです。
- なお本説明会は、環境省大臣官房地域脱炭素政策調整担当参事官室から調査を受託している野村総合研究所が実施いたします。

システム移行説明会
移行概要説明編
【令和8年7月開催】

- ・ システム移行のスケジュール・変更点やユーザビリティテスト協力依頼についての説明等を実施します。

システム移行説明会
次期システム操作説明編
【令和9年1月開催予定】

- ・ 次期システムのデモ画面を用いた操作説明、アカウント移行に係る説明等を実施します。

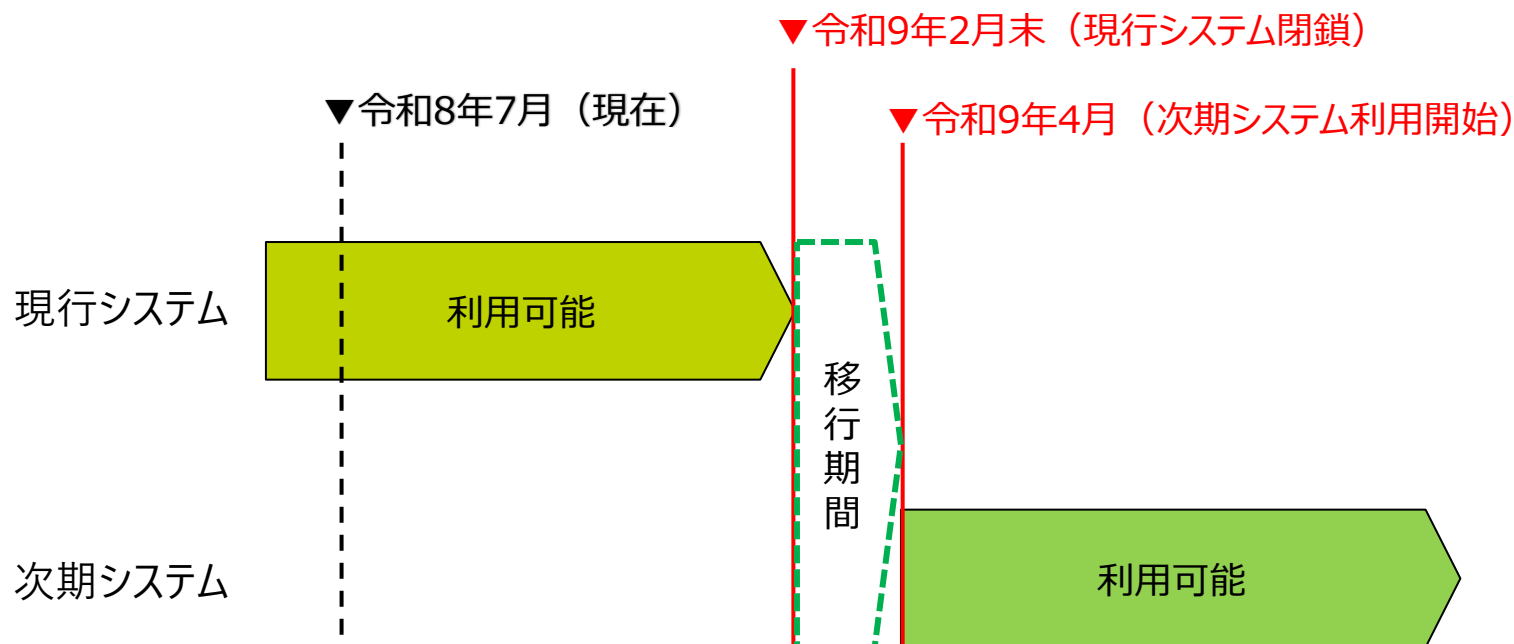
アジェンダ

プログラム	時間	資料該当ページ
1. 次期システムへの移行のスケジュール	5分	P4
2. 主な機能の変更点	10分	P5-8
3. 利用団体によるユーザビリティテストへのご協力依頼	10分	P9-10
4. 今後の説明会の開催予定	5分	P11
Q&A	20分	P12-13
計 50分（予定）		

LAPSSは令和9年4月に新システムに移行・運用開始予定です

- 地方公共団体は、GHG排出量削減等のための措置に関する「地方公共団体実行計画事務事業編」を策定する義務があり、実行計画の策定・改定を支えるシステムとしてLAPSSをご利用頂いております。
- LAPSSを引き続きご利用頂くに当たり、環境省ではLAPSSを次期システムに移行させることになりました。
- 現行システムは令和9年2月末に閉鎖を予定しており、次期システムは令和9年4月から利用開始する予定です。なお、現行システムに登録されたデータは基本的に次期システムに引き継がれます。

次期システム利用開始までのスケジュール



2. 主な機能の変更点

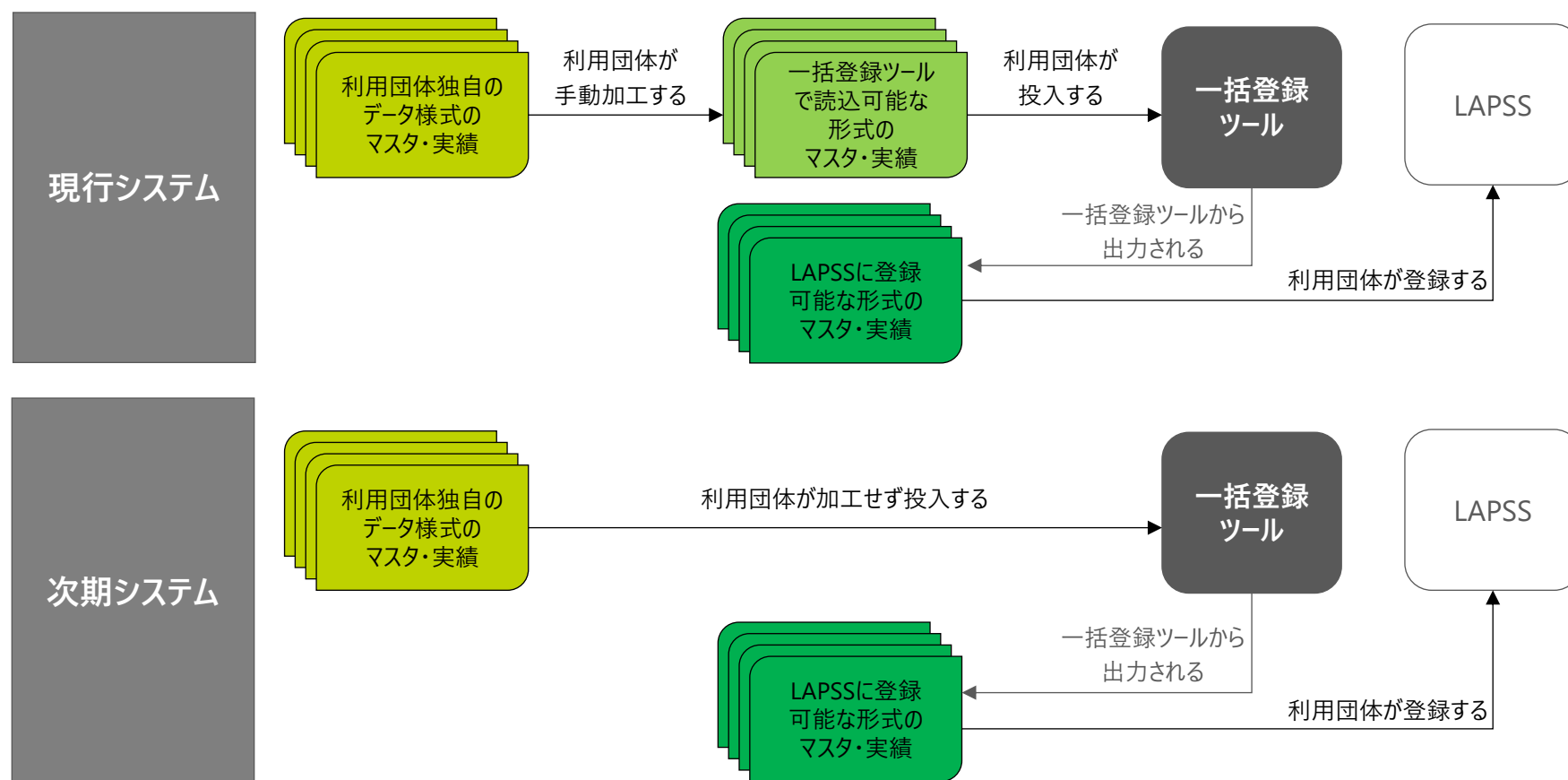
次期システムでは基本的に現行システムが踏襲され、事務事業編機能が一部改善されます

変更箇所	変更内容
事務事業編機能	①次期システムではまず一括登録ツールの改善を行い、利用団体の皆様のお声を引き続きお伺いしながら利便性向上に取り組んでいきます。
区域施策編機能	②利用状況等を踏まえて、次期システムでは実装しません。
トライアル環境	③次期システムでは、トライアル環境は提供しない予定です。トライアル環境に登録されている情報は、次期システムに引き継がれません。
システム基盤	④次期システムでは原則として現行システムを踏襲し、システム基盤はガバメントクラウドに移行します。

2. 主な機能の変更点

① 次期システムの「事務事業編」機能では、一括登録ツールの利便性が向上します

- マスタや活動量実績の登録時に、利用団体独自のデータ様式から必要な情報を自動で読み取り、LAPSSに登録可能な形式のファイルを出力できるようになります。
- そのため、各団体でマスタや活動実績をLAPSSに登録可能な形式に加工する作業が不要となります。



2. 主な機能の変更点

②「区域施策編」機能は令和9年2月に廃止され、次期システムでも実装されません

- 区域施策編機能は令和9年2月末で廃止されますが、地方公共団体実行計画（区域施策編）の制度に変更はありません。
- 区域施策編機能に関して、LAPSSを代替するツール等を提供する予定はありません。
- 区域施策編機能廃止前に、各団体において区域施策編データをエクスポートする必要があります。
 - 区域施策編機能利用団体を対象に送付済みのデータエクスポート手順書に従ってエクスポートをご実施頂けます。

※下記の表の緑枠で囲まれた5種類のデータのエクスポートをご実施下さい。
 ※システム操作手順書（区域施策編）にも該当する手順の記載があります。
https://www.lapss.env.go.jp/lapss/help/manual_area.pdf

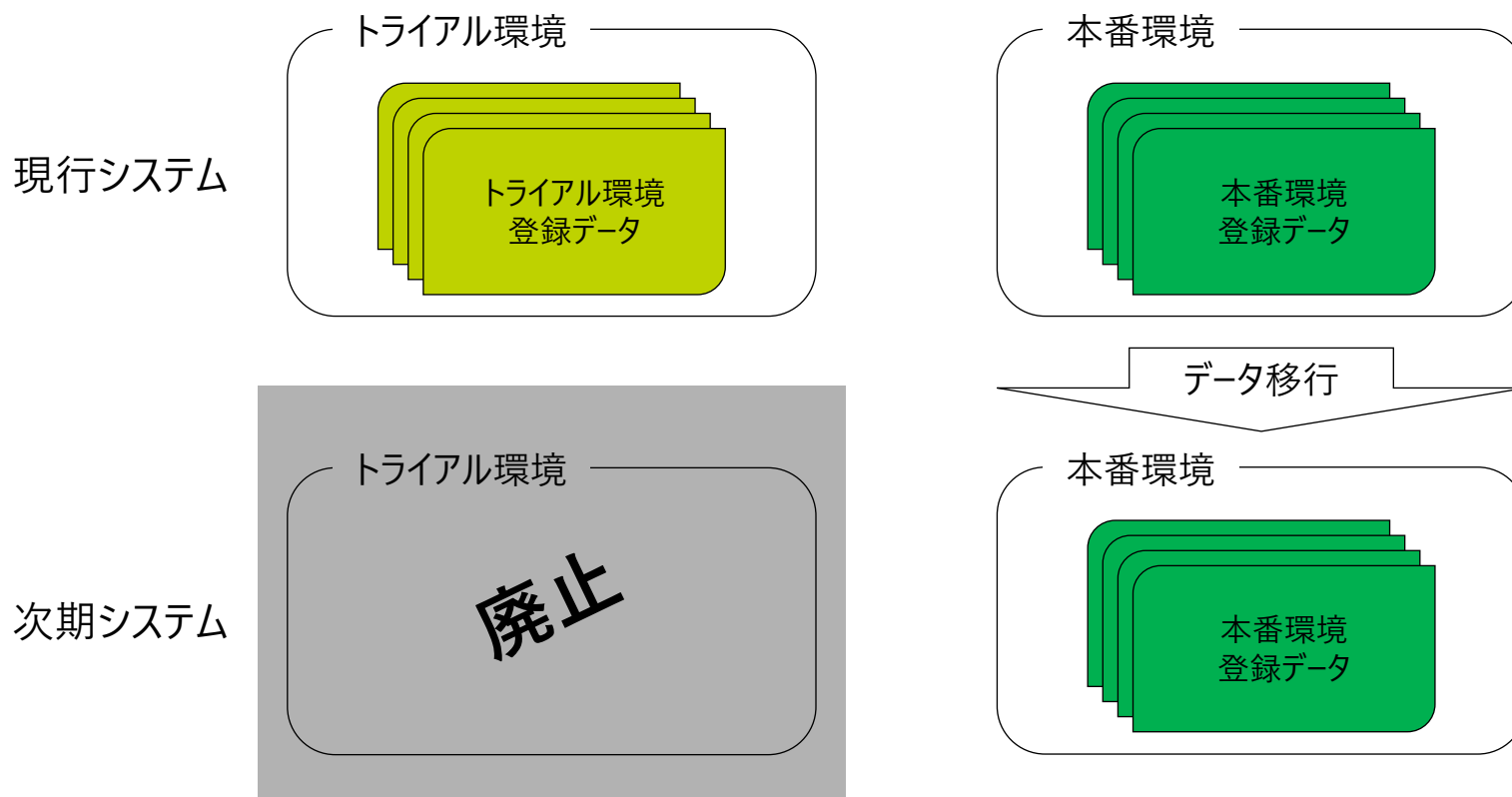
LAPSS上の機能	LAPSS上の機能項目	エクスポート対象ファイル	ファイル形式	システム操作手順書（区域施策編）該当箇所	エクスポート対象
区域施策編	排出量・活動量を推計する	排出量・活動量帳票	xlsx	4－1－2．排出量・活動量の確認	
	実行計画（区域施策編）を登録（新規・改訂）・参照する	実行計画（区域施策編）基礎情報帳票	xlsx	4－2－3．実行計画（区域施策編）概要の出力	
	部門に係る対策・施策を設定する	部門・分野別の対策・施策設定状況一覧	csv	4－2－2．部門・分野に係る対策・施策の設定	
	対策・施策の点検結果を入力する（部門・分野別）	対策・施策点検状況	csv	5－1－1．対策・施策の点検結果の登録	
	実行計画（区域施策編）を点検する	実行計画（区域施策編）点検結果帳票	xlsx	5－2－1．実行計画（区域施策編）点検結果の登録・出力	
	促進区域の設定に係る都道府県基準を設定する	なし	－	4－3－1．都道府県基準の登録	
	市域脱炭素化促進事業の促進に関する事項（市区町村）を設定する	なし	－	4－4－1．地域脱炭素化促進事業の促進に関する事項（市区町村）の登録	

画面から出力できないため
エクスポート対象外

※エクスポート対象外のデータは、LAPSS内該当画面からメモする等必要に応じ適宜自由形式にて保存下さいますようお願いいたします。

③次期システムでは、トライアル環境は提供されない予定です

- 本番環境に登録されているデータは次期システムに移行されます。
- トライアル環境に登録されているデータは次期システムには引き継がれません。トライアル環境に登録されているデータは適宜エクスポート下さい。



次期システムのユーザビリティテストを令和8年11-12月頃に実施予定です

- 次期システムの品質確認の一環として、利用団体の皆様に実際に操作いただくユーザビリティテストを予定しています。
- 本テストは、現行業務が次期システムでも円滑に継続できるか、また画面や操作方法の変更により使いにくい点がないかを確認することを目的としています。

ユーザビリティテストの実施概要

- ・ 対象 : 施設管理部局、事務局にて現行LAPSSを利用している方
- ・ 実施時期 : 令和8年11月下旬～12月上旬（予定）
- ・ 所要時間 : 60分程度
- ・ 実施形式 : オンライン（Web会議）

ユーザビリティテストの進め方

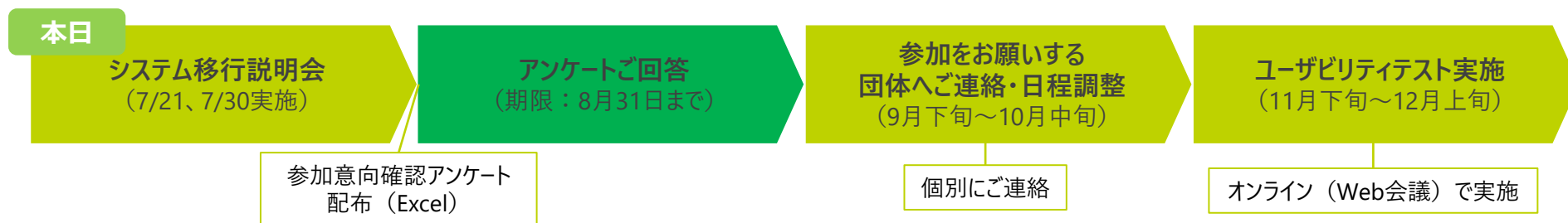
- ・ 参加団体ごとに個別に実施します。（同時実施ではありません）
- ・ テスト概要・操作シナリオをご提示します。
- ・ 当日は、画面共有をいただきながら実際に操作いただき、操作状況、つまずき・分かりにくい点の有無を確認します。
- ・ 確認された内容は、短期的に対応可能な事項の検討および、今後の改善課題の整理に活用させていただきます。

3. 利用団体によるユーザビリティテストへのご協力依頼

参加意向のある団体を対象にアンケートを行い、参加をお願いする団体に個別連絡します

- ユーザビリティテストへの参加意向がおありの場合は、本資料と共にお送りした、参加意向確認アンケートファイル(Excel)の内容をご確認の上、**令和8年8月31日(月)までにご回答**をお願いします。
 - ご回答をご記入の上、lapss-seminar1@nri.co.jp までお送り下さい。
- アンケートのご回答内容を踏まえ、参加をお願いする団体へ個別にご連絡します。

ユーザビリティテスト実施までの流れ



令和9年1月頃に次期システムの操作説明会を開催予定です

- 令和9年1月頃に、システム移行説明会（次期システム操作説明編）を開催し、次期システムのデモ画面を用いた操作説明、アカウント移行に係る説明等を実施する予定です。
- 詳細発表まで暫くお待ちください。

システム移行説明会 移行概要説明編 【令和8年7月開催】

- システム移行のスケジュール・変更点やユーザビリティテスト協力依頼についての説明等を実施しました。

システム移行説明会 次期システム操作説明編 【令和9年1月開催予定】

- 次期システムのデモ画面を用いた操作説明、アカウント移行に係る説明等を実施します。

Q&A

問い合わせ窓口に事前に寄せられた質問等を取りまとめています。

● システム移行の目的

Q：システム移行の目的を教えてください。

A：現在LAPSSが稼働している現行システム基盤の廃止に伴い、新たなシステム基盤への移行が必要となるためです。

● システム移行の影響

Q：移行に伴い利用団体側が実施する作業はありますか？

A：パスワード再発行等の軽微な作業が発生する可能性があります。また区域施策編機能とトライアル環境は廃止されるため、それらに登録されているデータは必要に応じ各自エクスポートください。手順については、<https://www.lapss.env.go.jp/lapss/help/help.html> にごさいます操作手順書にて各機能の説明箇所をご覧の上、機能ごとにファイルのエクスポートを令和9年2月末までにご実施ください。事務事業編に入力されているデータの移行については、作業は不要です。

Q：次期システムの利用登録は必要ですか？

A：現行LAPSSをご利用いただいている場合は、改めての利用登録は不要です。

Q：次期システムの利用料金はかかりますか？その他利用団体の費用負担はありますか？

A：利用料金はかかりません。ご負担いただく費用もありません。

Q：令和9年2月末の現行システム閉鎖から令和9年4月の次期システム利用開始までの約1か月間、LAPSSは利用できますか？

A：申し訳ありません。システム移行期間中はLAPSSをご利用いただけません。

Q：現行システムでのLAPSSの閲覧は、令和9年2月末を過ぎるとできなくなりますか？

A：事務事業編のデータは次期システムに移行されますが、現行LAPSSは令和9年2月末を過ぎると閲覧いただけません。

Q：次期システムのトライアル期間や、現行システムと次期システムの両方を操作可能な期間は設けられますか？

A：その予定はございません。

Q&A

問い合わせ窓口に事前に寄せられた質問等を取りまとめています。

● システム移行後の変更点等

Q：システム移行に伴いURL、ドメイン情報、接続方式（LGWAN）は変更されますか？

A：ログイン画面のURL、ドメインは変更されません。ログイン後の各画面のURLは変更になりますが、ご利用者様には影響しない想定です。また、接続方式としては引き続きLGWANをご利用頂けます。

Q：システム移行に伴い画面デザイン、メニュー名、入力方法は変更されますか？

A：画面デザインは刷新されますが、メニュー名や入力方法は、改善対象となった一括登録ツールを除き変更されません。

Q：「事務事業編」機能は次期システムでも実装されますか？

A：はい、「事務事業編」機能は次期システムでも引き続き実装されます。

Q：LAPSSからEEGS（省エネ法・温対法・フロン法電子報告システム）への連携は次期システムでも引き続き利用可能ですか？

A：現行LAPSSと同様に引き続きご利用いただけます。

Q：次期システムの一括登録ツールでは利用団体独自のデータ様式から必要な情報を自動で読み取り、LAPSSに登録可能な形式のファイルを出力できるようにするとのことですが、用いるデータ様式は自由ですか？また、現行システムと同様の取込方法は次期システムでも利用可能ですか？

A：データ様式を完全に自由にすることは難しく、一定のルールは設ける想定です。詳細については今後検討を継続し、令和9年1月に開催予定の次期システム操作説明会でご案内します。なお、現行システムと同様の取込方法は次期システムでも利用可能となる予定です。

Q：ユーザビリティテスト実施前、あるいは令和9年1月の次期システム操作説明会の前に次期システムに関する説明会は開催されますか？また、次期システムの操作マニュアルはいつ頃配布されますか？

A：説明会をユーザビリティテスト実施前、あるいは令和9年1月の次期システム操作説明会の前に開催する予定はございません。次期システムの操作マニュアルは令和9年1月頃に配布予定です。

現行システム・システム移行についてのお問合せはそれぞれ次の窓口へお願い致します

■ 現行システムについて

【ミツイワサポートサービスセンター】

電話番号：050-3354-6686

メールアドレス：lapss-helpdesk@mitsuiwa.co.jp

■ 次期システムへの移行について

【キャップジェミニ】

メールアドレス：lapss-helpdesk.jp@capgemini.com

本説明会を受けてのアンケートにご協力ください

- 本説明会を受けてのご感想等をうかがうアンケートにご協力ください。
 - 下記URLのどちらか一方にアクセスの上、令和8年8月4日（火）までに回答をご送信下さい。
 - 7月21日にご参加いただいた方：<https://questant.jp/q/CL7UEKQF>
 - 7月30日にご参加いただいた方：<https://questant.jp/q/3AJC9QTX>
- ユーザビリティテストへの参加に関するアンケートは本資料と共に別途、メールでお送りしております。
 - メールに添付されたExcelファイルにご記入の上、令和8年8月31日（月）までに回答を下記アドレスまでご返送下さい。
lapss-seminar1@nri.co.jp

ご参加ありがとうございました